



CONTENTS

特集1	新理事長あいさつ・理事就任にあたって	2
特集2	安全・適正就業	4
	シルバーフェスティバル開催決定	7
	7区通信	8
	就業先情報(城南区)	17
	ワンコインだより	18
	会議開催状況	19
	実績報告/事故発生状況	20
	歴史散歩(中央区)	21
	互助会だより	22
	事務局からのお知らせ/編集後記	裏表紙



多間櫓

福岡城の南西にある「多間櫓」は、福岡城で唯一の国指定重要文化財です。総延長40間(72m)の櫓は両端に二層の櫓を持ち、内部は多くの小部屋に分かれています。

写真: 高橋 勉(早良区)

公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

新理事長のあいさつ

このたび、再び理事長を仰せつかりました生田征生でございます。就任にあたりご挨拶申し上げます。

福岡市シルバー人材センターは約 6,800 名の会員の方々が、自主・自立、共働・共助の精神のもと明るく、楽しく、そして社会の担い手として、積極的に社会参加されていることを喜ばしく思っております。

この法人の特徴はシルバー年代の皆様が安心して就業でき、そして地域の市民の皆さんや企業などが不安を覚えることなく気軽に頼めるところでございます。そして、その役割は今後ますます重要になると確信しています。

なお、昨年 7 月から開始された有償ボランティア事業である「ワンコインお助け隊事業」は、利用者からも喜ばれ順調に受注件数を伸ばしており、地域社会への貢献に役立つとともに、市民の皆様にごセンターを認識いただく機会となり、当センターのさらなる発展に寄与していくものと一層の拡大を期待しております。

今後とも、当センターの運営にあたり、会員の皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



理事長
生田 征生

特集 1

理事就任にあたって

今年度就任された理事にお話を伺いました。



常務理事
新徳 重昭

暑い季節になりました。皆様お元気にお過ごしでしょうか。日々の就業、地域でのボランティア、家族サービスなど多方面にご活躍のことと存じます。

今年 6 月の総会で常務理事に選任いただきました新徳と申します。微力でございますが、福岡市シルバー人材センターの発展に少しでもお役に立ちたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、我が国の平均寿命は、今後さらに延びて平成 72 (2060) 年には男性 84.19 年、女性 90.93 年になると見込まれています。すべての人々が長寿を享受できる社会が実現しつつある中、「人生 90 年時代」への「備え」が大変重要な時代になってきています。

私たちシルバー人材センター会員が行っている就業を通じて、社会に責任と生きがいを持ち、張り合いを持って生活している姿そのものが、その重要な備えを実践していることにほかならず、時代の最先端を進んでいることを、互いに称えあいたいと思います。

ともどもに、高齢者の笑顔があふれる福岡市をつくりましょう。子どもたちや若者が輝く福岡市となるよう取り組んでいきましょう。これからの超高齢社会を支えるのは、私たち元気な高齢者です！



東区委員長
広田 昌平

先の定時総会にて東区委員長理事の承認をいただき身に余る重責、一意専心、会員の皆様のご助言とご協力を仰ぎ、お世話役の長として一生懸命務めさせていただきます。シルバーの基本理念である『自主・自立、共働・共助』のもとで、会員の皆様の力を十分に活かした地域社会に貢献する公益団体として活動すると共に、会員の皆様が社会参加への喜び、生きがい、健康づくり、仲間づくりができるよう頑張っていきます。

私の活動方針として、第1に就業機会の拡大です。従来の公民館・いきいきセンター・学校・病院の重点訪問を一般企業にシフトさせ、新たな企業用パンフレットで出来るだけ多く訪問し、会員の皆様が少しでも多く就業できるよう努力します。第2に安全・適正就業です。「安全はすべてに優先する」を合言葉に、無事故運動、事故ゼロを目指します。就業中・就業途上の事故撲滅、安全就業基準の遵守は勿論のこと、健康状態・身体能力の自覚を促し、その啓蒙・啓発に努めます。第3に情報の共有です。会員のつどい、安全大会、女性会員のつどい、地域懇談会、職群会議等で会員の皆様のご意見を頂き、お互いの情報を共有したいと思います。第4に明るい事務所づくりです。会員目線で対応させていただき、可能な限り会員の皆様の要望に応えられるよう、元気で明るく就業していきます。

会員の皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。



専任担当理事
前田 利勝

就業履歴は、駐輪場で4年間、博多出張所で公共担当を3年間経験させて頂きました。就任にあたり自分自身の「福岡市シルバー人材センター」会員としての考え方を少し述べさせて戴きたいと思えます。

私達の組織は公益社団法人「福岡市シルバー人材センター」です。この「人材という意識」を常に持って仕事に取り組みたいと思えます。

1. 私達会員一人ひとは、長年、戦後の「混乱期」、「高度成長期」を、女性は家庭を支え、男性は会社を支え、社会を生き抜いてきました。この大きな経験が私達シルバー会員一人ひとりの大きな財産だと考えています。従って会員一人ひとりが、シルバー人材センターの有能な人材です。宝です。
2. シルバー人材センター会員の特徴は、この経験に基づく「判断力」と「対応力」だと考えています。多少瞬発力や持続力では劣るかも知れませんが、私達が持っている「判断力」や「対応力」「適応力」は他の欠点を補って余りあるものです。
3. 従って就業先でも、家庭でもシルバー（高齢）である事に誇りと自信を持って会員の皆様と共に生きていきたいと思えます。
4. 理事として「福岡市シルバー人材センター」の安定的成長と継続を図るべく組織の一員として本部・出張所・会員の接点となるように、真摯に向かい合いたいと強く考えています。その事により後に続く後輩たちの、就業機会をひとつでも増やしておきたいと考えています。皆様のご指導とご鞭撻を宜しくお願い致します。



専任担当理事
原 和己

この度、専任担当理事に選任頂きました。今までは、働く立場から出張所や本部を見、聞きして、多々疑問等を持ち、どうしたらより良いシルバーになるのか。自分としては何が出来るのかと考えておりました。今からは、逆の立場で会員の皆様方に見られる立場となりました。心引き締めて会員の皆様方、出張所の方々及び本部の方々のご協力を得ながら、任された業務は当然のこととして、より良いシルバーに向かうよう微力ではありますが邁進するつもりです。

担当業務が職群班関係（剪定、刈払、除草）ですので、従事される会員の皆様には、始業から10分、終業10分前、従事されて2、3年慣れが生じる頃が1番、事故が起きやすい時と聞いておりますので、健康とともに安全を第1に業務に励んで下さい。

これからは皆様方の御協力、ご指導を宜しくお願い致します。



専任担当理事
井上 洋保

私は平成26年5月29日の定時総会において専任担当理事に承認いただき、就業開拓、普及啓発、独自事業を担当することになりました。

活動するにあたり、基本的な考えは各区の地域特性を考慮しながら、7名の就業開拓員と共に事務局、出張所との連携をとり、各職群の状況をみながら取り組んでまいります。

福岡市の65歳以上の人口は28万5千人（平成25年10月現在）、福岡市の人口の約19%となって高齢化が益々進んでいます。今後高齢者が増加する中で会員の皆様が安心して就業できる場を開拓することの重要性を痛切に感じています。就業先確保のためには、宇宙飛行士の若田光一さんが“和の心”を持って船長としての大役を成し遂げられましたように、私自身も“和”を大切に、お互いに協力しあい情報収集、行動を図って就業先の拡大を行ってまいります。これからの就業先開拓、普及活動において、公益社団法人福岡市シルバー人材センターの状況について一般市民の方々に、ご理解とご協力を頂くための工夫が必要だと思っています。

会員の皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

安全・適正就業

安全・適正就業は、センター全体で取り組む重要課題と位置付け、今年度は安全パトロールを強化します。

各出張所での安全・適正就業対策担当の安全パトロールに加え、安全・適正就業対策委員長（新徳常務理事）を中心に就業現場の巡回も実施し、就業会員の安全意識の向上に努めます。

また今年度は事故が多発しています。6月までで既に17件発生しています。

就業途上及び就業中の転倒事故が一番多く、就業中の確認不足による物損事故、配食サービスで運転ミスによる自動車事故も発生しています。不注意により発生した事故がほとんどです。1人1人が安全を常に意識することで、事故をなくしましょう。

全国統一安全就業スローガンが決定しました。

「見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験」

（平成26年～平成28年度全国統一安全就業スローガン）

安全就業対策として、安全就業スローガンを記載したのぼり旗を、各出張所に配付しています。

7月は安全・適正就業強化月間です。各区で、安全・適正就業促進大会を開催しました。

また各区の安全・適正就業対策担当は、さまざまな会議で、事故事例を紹介しての事故報告や熱中症の予防などについて周知しています。

連合会主催の安全就業促進大会に参加しました

7月3日（木）に、福岡県シルバー人材センター連合会の安全就業促進大会が中央市民センターで開催されました。当センターからは、新徳常務理事、区委員長理事7名、専任担当理事5名、岡崎監事、安全・適正就業対策担当7名、湊事務局長他3名、合計25名参加しました。

松尾安全・適正就業対策担当理事が、『当センターの自転車事故防止の取り組み』について発表しました。「これからも皆さんが明るく元気に就業していただけるよう、安全就業への取り組みを続けていきます。会員の皆様も、就業中・就業途上にかかわらず“安全は総てに優先する”この言葉を常に意識していただければ幸いです」と結ばれました。



平成26年度安全標語最優秀賞 受賞

「忘れるな ヒヤリですんだ その瞬間」

安全標語の最優秀賞を、博多出張所の木室和孝会員（安全・適正就業対策担当）が受賞しました。



各区の安全・適正就業促進大会 報告

東

区



日 時 7月8日(火) 10時～12時

場 所 コミセン和白

参加人数 120名

主な内容

- ・講演：JAF 交通安全講習会
テーマ『視ることによる事故防止』
- ・東出張所安全委員の紹介と決意表明
- ・安全スローガンの唱和(全員)

安全・適正就業対策担当から一言

生きがいは安全就業から

安全・適正就業担当になって、3カ月が経過しました。今まで一つの就業先にいたため分からなかった他の就業の現場をいろいろ体験させてもらいました。

70過ぎてても80近くなっても、多くのシルバー会員が就業しています。高齢化社会の中で、会員の皆さんは生き生きと輝いて仕事をしています。話をするとたいへん元気をもらえます。

事故0を目指し事故撲滅を図り、高齢者になっても「安全・安心」で仕事をしてもらえるために、私に何が出来るか、働く喜びをいかに多くの人に提供出来るか、課題が多い毎日です。

シルバー人材センターを支えておられる諸先輩の皆様へ感謝して、今後会員の皆様が怪我なく、病気をせず元気に仕事が続けられるよう支援させていただきたいと強く思います。よろしくお願ひ申し上げます。

加藤 誠二

博多

区



日 時 7月8日(火) 10時～12時

場 所 博多市民センター

参加人数 151名

主な内容

- ・委員長、新徳常務理事、前田専任理事の挨拶
- ・無事故優良班の表彰式
- ・スローガンを参加者全員で宣言
- ・講演：博多警察署「交通安全・防犯について」

安全・適正就業対策担当から一言

「忘れるな ヒヤリですんだ その瞬間」

皆さんも一度や二度ヒヤリとした体験があると思います。1件の重篤事故の背後には29件の事故があり、その背後には300件のヒヤリ・ハットが存在するという安全の経験法則があります。

ヒヤリとは事故に至らなかったものの、事故に直結する可能性があった一歩手前の事象ですが、「ああ良かった、助かった」と見過ごされ、すぐに忘れ去られてしまうことが多くあります。更にヒヤリの背景には多くの安全ではない状態と安全ではない行動があります。安全ではない状態・行動を把握し、危険予知を行うことで98%の事故を防止できます。

安全に対するセンターの雰囲気、会員の気質をレベルアップし、「安全はすべてに優先する」というシルバーセンターの風土を醸成していきましょう。

安全大会では東平尾公園班、雑餉隈駐輪場グループ、竹下西駐輪場グループが無事故優秀班として表彰されました。8年、6年と無事故を継続している職群班同様事故「0」に挑戦してもらいたいと思います。

木室 和孝

中央

区



日 時 7月9日(水) 10時～12時

場 所 ふくふくプラザ

参加人数 145名

主な内容

- ・委員長・専任理事挨拶
- ・講演「熱中症の予防対策について」
- ・交通安全・安全就業宣言

安全・適正就業対策担当から一言

感動の「那の津保管所」

かつて違法駐輪全国ワーストワンだった福岡市。自転車が街にあふれ、川に投棄されていた光景が思い出されます。その撲滅の為に地下鉄空港線・七隈線・西鉄大牟田線の各駅に出来る限りの駐輪場を開設して収容、街頭指導によりサイクルポストは整然と収納されています。

市中心部の自転車マナーもマナーアップ会員の活動で随分アップし、違法駐輪車は撤去班によって保管所に運ばれます。

福岡市は坂が少なく、街の中心が程よく小さく、自転車の増加は止まる事はありません。安全パトロールで那の津保管所に行けば、集められた数千台の自転車を前にしてシルバー会員の活躍の結果が見えるのです。

首藤 時男

南区



日時 7月17日(木) 10時～12時
場所 南出張所
参加人員 42名

主な内容

- ・委員長挨拶・来賓挨拶
- ・安全就業宣言(街頭指導班長 穴本会員)
- ・講演:「自転車の安全利用の推進」
講師 南警察署交通第一課交通総務係長 岩下勝氏

安全・適正就業対策担当から一言

梅雨の晴れ間の一日、今年度は南出張所(2F会議室)にて「安全・適正就業促進大会」を開催致しました。

平田委員長の大会挨拶にはじまり、松尾専任担当理事(安全・適正就業対策担当)からは昨年度の各出張所における事故事例についての考察、更に岡崎監事より今後の安全就業への取り組みについての有意義な解説を戴きました。

本年度の記念講演といたしましては、「自転車の安全利用の促進」～安全ルールを守る～と題しまして、福岡県南警察署の岩下勝氏により、自転車事故における危険性などについての詳しいご説明を戴きました。

昨年度には南出張所でも自転車事故による骨折事故が3件発生しております。今後も、事故の無い安全・適正就業を目指し、頑張りましょう。

的野 哲

城南区



日時 7月11日(金) 10時～12時
場所 城南市民センター
参加人数 81名

主な内容

- ・委員長・専任理事挨拶
- ・事故発生状況の報告
- ・健康チェックとストレッチ体操
- ・講演:本日は怖い熱中症『最新の熱中症対策』

安全・適正就業対策担当から一言

無事故・無災害 〇を目指して

安全担当になり、5ヵ月が過ぎました。当初具体的に何をすべきか分からず、除草とは草取り、刈払とはカマで草を刈る、剪定は植木の枝を切る、等の知識しかなく、安易に思っていました。現場をパトロールしたところ、これらの作業には、いろんな刃物等、危険な器具の使用が大変多いのに驚き、是、即ち事故の元凶で、保管、取扱、持ち運び等に対し、安全対策の必要性を感じました。前年度の事故例を参考に多い事故をまとめたところ、自転車による事故が多く中でも就業途上時に最も多く発生していました。

今年度の第一の目標として、「自転車事故“〇”件」を目標に掲げたいと思います。安全就業・適正就業を推進していきますので、ご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。

高浪 和大

早良区



日時 7月18日(金) 10時～12時
場所 早良市民センター
参加人数 106名

主な内容

- ・五島委員長挨拶
- ・松尾 安全・適正就業担当理事 挨拶
- ・加藤安全担当の報告
- ・講演:演題「熱中症予防について」
講師 大塚製薬(株)玉置聖美氏

安全・適正就業対策担当から一言

元気で明るく笑顔で

7月は安全・適正就業強化月間が全国展開されます。これに連動し、早良出張所も事故災害の撲滅を目指し、会員一人ひとりに安全就業を呼びかけ、安全意識の向上を展開しております。

会員の皆さんが安全就業を行う上で大切なことは、健康管理であり、良好な体調で就業すること、ストレスを溜めないことを、ことあるごとに伝えていきます。

また、『良い仕事は道具から』手入れは、各人でしっかりしていただくように薦めています。

これからも安全就業を、全体会議や研修会、地域懇談会などで周知していきます。

加藤 義春

西 区



日 時 7月9日(水) 10時~12時

場 所 西市民センター

参加人数 100名

主な内容

- ・委員長・専任理事挨拶
- ・講演「飲酒運転の撲滅と交差点の交通事故防止」
- ・楽器演奏によるユニークな防犯教室「安全・安心オーケストラ」
- ・安全宣言

安全・適正就業対策担当から一言

安全担当として4ヵ月、事故がないことを祈りながら現場のパトロールを行っています。しかし今年度、西出張所ですでに昨年の年間発生件数を上回る事故が起きています。

それぞれの事故原因を分析してみると「漫然とした行動」「自分は大丈夫という過信」が事故に繋がったと思われます。事故防止には各人が慎重で、余裕を持っての行動、そして決められた手順や操作が大事です。

シルバーの仕事は共働です。安全優先のシルバーらしい仕事、お客様に高い満足を得く為にも、事故を起こさない緊張感のある就業現場が望まれます。

26年度「安全・適正就業促進大会」も無事に済ますことができました。今後とも現場での対話を通じて、限りなく事故ゼロに近づけるように取り組んで行きたいと思えます。

苧園 俊一

シルバースフェスティバル2014

開催決定!

日時 10月18日(土) ▶ 19日(日) **2日間**

10時~16時

場所 『RKBラジオまつり』会場内
RKB放送会館前広場

(住所:福岡市早良区百道浜2-3-8)

※日程等変更の場合は別途お知らせいたします。

今年も、百道浜で行われる『RKBラジオまつり』の会場内で、『シルバースフェスティバル』を開催します。詳細は、決定後に各出張所でもご案内します。

7区通信

東

区

ひがしく

ラブアース・クリーンアップ2014



平成4年5月に開催された「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」を契機に、“地球環境と地域行動”の実践として、市民や企業、行政が協力し、海岸、河川、山なみの散乱ゴミを回収する地域環境美化活動が始まり、毎年「ラブアース・クリーンアップ」が開催されています。

今年も6月8日（日）に全国的に開催されました。東区香椎の御島崎海岸は8時30分から行われ、東出張所もこの趣旨に賛同し、広田委員長を始め会員55名が清掃活動に参加しました。

近年は美化活動への意識も高く、海岸もきれいになってきたようです。

役員会開催

6月24日（火）10時から出張所会議室において、地域班長29名と職群班長9名及び広田委員長、加藤・山本副委員長の出席で役員会が開催されました。

まず、副委員長2名と地域班長2名の交代の紹介がありました。

広田委員長が委員長になって初めての役員会ということもあり、挨拶に続き抱負を次のように述べられました。

①就業先の拡大 ②安全10ヶ条の遵守
③情報の共有 ④明るい事務所づくり
続けて、26年度活動状況の報告がありました。

加藤安全担当より事故発生状況の報告がありました。4～5月は前年より事故が増加しているので、より一層の注意をお願いしますとのこと。

7月8日（火）の東出張所の「安全・適正就業促進大会」と7月11日（金）の「東区夏の交通安全県民運動」への参加の依頼がありました。各地区で行われている地域懇談会への多数参加の依頼もありました。また健康診断の受診報告提出の依頼、熱中症予防や食中毒防止について説明がありました。



地域懇談会開催

今年度の地域懇談会が、地区ごとに下記の日程で開催されています。

【6月】美和台A、和白東A・B、和白、奈多、西戸崎



【7月】三苦・美和台 B、香椎・香椎東 A、下原 A・B、城浜 A・B、香住丘 A・B、名島 A・B、千早香陵・千早西・香椎浜

【9月～11月】香椎東 B、舞松原、若宮、青葉、八田、多々良 A・B、松島、筥松、箱崎、東箱崎、原田、馬出

6月20日（金）10時より奈多地区の地域懇談会が奈多公民館で開催されました。

出席者の自己紹介の後、広田委員長のあいさつと事業活動の報告、加藤副委員長から事故発生状況の説明があり、出席者の情報交換が行われました。

安全・適正就業促進大会開催



7月8日（火）10時からコミセン和自において、安全・適正就業促進大会が120名の会員が参加して開催されました。

広田委員長の挨拶の後、加藤安全担当より事例をあげて事故の要因と対応についての説明がありました。

続いて松尾安全担当理事より『自転車の安全運転』について話がありました。

記念講演では、JAF福岡支部交通環境係小川泰久様より『視ることによる事故防止』のテーマで、スライドを使って実際の安全運転や事故事例の交通安全講習がありました。

その後、東出張所の安全委員の紹介と決意表明がありました。

最後に、参加者全員による安全スローガンの唱和があり、閉会しました。

広報委員 今林 隆雄

博多

区

はかたぐ

ラブアース・クリーンアップ2014



6月8日（日）曇り空の中、朝7時30分から刈払・除草班、街頭指導班、駐輪場班の会員を中心とした63名が山王公園に集合し、清掃活動をしました。落ち葉、木くず、紙くずなど燃えるごみ82袋、空き缶など燃えないゴミ2袋を拾い集め、9時30分に解散しました。

安全・適正就業促進大会

7月8日（火）博多市民センターで10時より開催されました。台風が接近中で天候が心配されましたが、晴れ間も見える天気となり、151名の参加がありました。

倉岡委員長の「日頃の安全就業への取り組みへの感謝」の挨拶に始まり、新徳常務理事から「タラとレバ」「福岡市の就業率について」、前田専任担当理事から「人材という言葉について」といった内容の挨拶がありました。

続いて無事故優良班表彰式があり、雑餉隈駐輪場班、竹下西駐輪場班、東平尾公園班が表彰されました。



木室安全担当から、パンフレットやスライドを使っての自転車事故の具体的な事例紹介があ

り、事故の内容は①自転車同士 ②自動車と衝突 ③歩行者と衝突 ④自分で転ぶ があり、自分で転ぶケースが全体の半分位との指摘もありました。

安全就業全国統一スローガン『見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験』のもと、参加者全員の唱和で安全就業宣言が確認されました。

講演では、博多警察署交通第一課から「交通安全について」、博多警察署生活安全課から「防犯について」のレクチャーがあり、閉会しました。



福岡空港駐輪場会議



第一回の会議が、7月15日（火）席田公民館にて行われました。

委員長、公共担当の挨拶のあと、今年度のスローガン“笑顔とまごころで挨拶”が確認されました。続いて、新しく仲間になった会員の紹介がありました。関利光会員、浦寿男会員、上野富立会員です。

業務の問題点については、特に熱心に討議されました。中でも「掲示板、引継ぎノートを確認しよう」、「朝は一階と地下を重点的に整理しよう」といったことを全員で共有しました。

その他に、不法駐輪や一人就業の際の煙・火災感知器の誤作動についてなどの留意点が指摘されました。

広報委員 戸川 博文

中央

区

ちゅうおうく

ラブアース・クリーンアップ2014



6月8日（日）午前9時から「ラブアース・クリーンアップ2014」が舞鶴公園でも開催されました。中央出張所からは116名が参加しました。

主催者スタッフの一助として、会員数名が前日に企業・団体別にゴミ回収袋を会場内に用意する準備も手伝い、主催者に感謝されました。

当日は、美化運動に汗を流し、参加者全員の気持ちも美化したようです。

役員会開催



6月27日（金）10時から、役員会が開催されました。

岩男委員長の挨拶の後、センターの動向と中央出張所の配分金について説明がありました。

1. 介護保険法改正に伴い、地方自治体による「地域支援事業」が決定しました。福岡市からシルバー人材センターが将来「地域支援事業」の受け皿になってもらいたいという要請があり、現在検討しているところです。

2. 26年4～5月の配分金実績は、予算達成率は前年比においても良いスタートを切ることができました。今後も推移を注意深く見守りたいと思います。
3. 地域懇談会は6月から校区ごとに順次開催しています。今までのところ有意義な開催結果です。今後10月頃までに全校区の地域懇談会を終了する予定です。
4. 人事交代については、瓜生副委員長が6月30日付で退任され後任に白川会員、福浜Ⅱの地域班長は田中会員の後任に北村会員、それぞれ推薦を受け承認されました。
5. 安全・適正就業担当及び就業開拓員から、配付資料に基づき説明がありました。
6. その他行事として、7月9日(水)に「安全・適正就業促進大会」がふくふくプラザで開催されます。

広報委員 井手上 勉

南

区

みなみく

ラブアース・クリーンアップ2014

“高宮駅～大橋駅間の美化活動”
に参加して



梅雨冷えの候、6月8日(日)午前10時から会員38名が高宮駅に集合し、「ラブアース・クリーンアップ2014」の活動に参加しました。

例年は塩原北公園や河川敷の清掃をしていましたが、今年は高宮駅から大橋駅の間を“来たときよりも美しく”をモットーに、清掃しました。人や車の交通量が多い県道、新幹線下の市道や裏通りを、参加者は軍手をして火バサミやゴミ袋を片手に歩きながら約1時間ゴミや空き

缶などを拾いました。参加した会員は、シルバー人材センターを知ってもらおうとパンフレットの配布もしました。

「ラブアース・クリーンアップ」は、市民・企業・行政が協力し、海岸や河川、公園などを一斉に清掃する地球環境美化活動です。今年で23回目となるこの取り組みは、福岡市で始まり九州・沖縄、遠くは石川県や北海道、さらに韓国の釜山まで活動の輪が広がっています。この活動を通して、美化活動に対する関心が高揚し、町を美しくしようという気運が広がっていることは確かです。大橋駅に到着後、平田委員長から謝辞があり三々五々家路につきました。活動を終えた会員の表情は爽快感が溢れていました。



第2回役員会開催

6月20日(金)午後2時30分より南出張所の2階会議室において、平田委員長、的野・丹野両副委員長、職群班長、地域班長の計31名が出席して、役員会が行われました。

平田委員長より挨拶の後、総務部会の報告等がありました。要約しますと下記の通りです。

1. 報告事項

1) 会員の状況(南区)(5/30現在)

会員数 1,084人(男性702人・女性382人)

5月の入会者数10人(男性5人・女性5人)・

5月の退会者数8人(男性6人・女性2人)

2) 「ワンコインお助け隊」について

(4月) 100円→43件、500円→3件

(5月) 100円→54件、500円→0件

3) 26年度定時総会について

南出張所の出席者数64名、委任状回収数674名(62.3%)

4) 出張所事務職員の交代について

新基幹事務担当：遠田喜美代会員

新家事援助サービス担当：桑原令子会員



2. 承認事項

1) 役員交代について

地域班長

(野多目) 川端由紀子会員→佐藤俊彦会員

(大楠) 秦壽美子会員→川本又矩会員

職群班長

(手取除草) 宮崎千歳会員

(街頭指導) 穴本陽一会員

以上推薦があり、承認されました。

3. その他

1) 安全・適正就業促進大会について

野安全担当から「会員の皆様の中で自転車を利用される方も多いためです。『新しい交通ルールって何?』『万一事故に遭ったら……』と思われる方は、安全大会に参加し交通ルールを再確認してはいかがでしょうか」と参加の要請がありました。

2) 互助会の歴史探訪・日帰り親睦旅行(実行委員5名選出)・芸能大会について

委員長より「熱中症対策と就業時の安全を十分考慮して、必ず複数態勢をとるようにしてください」と強くお願いがありました。

長時間でしたが、滞りなく終了しました。

皆さん、カラオケを楽しみませんか!

南出張所互助会サークルのカラオケ愛好会「^{ひばり}雲雀」は、会員の親睦と娯楽、健康増進をモットーに活動しています。

この愛好会は、先生に新曲を習うようなやり方ではなく、私たちの年代にマッチした、いわば懐メロを主体に往時を偲んで楽しむといった内容で行っています。楽しむことが一番、上手・下手は二の次、三の次です。

気楽に参加できますので、皆さんのご参加を



お待ちしております。入会希望の方は、西野互助会業務委員まで連絡してください。

広報委員 高濱 一郎

城南

区

じょうなんく

ラブアース・クリーンアップ2014

～『城南学園通り』3.2キロを中心に
沿線の歩道をきれいに!～



恒例の『ラブアース・クリーンアップ2014』が6月8日(日)に開催されました。

城南出張所の取り組みは、毎年、会員の皆さんが地下鉄七隈線6駅(別府駅～梅林駅)の最寄りの駐輪場に集合し、地下鉄駅1区間の沿道を往復してゴミを拾っています。

今年は、集合時間の午前9時前は霧雨模様だったので参加者の出足が心配されましたが、昨年を上回る80名(うち女性会員16名)の参加を得ることができました。

『城南学園通り』3.2キロプラス梅林駅までを、6つのチームに分かれ、沿道を往復してゴミ拾いをしました。街路樹に埋もれたゴミもきれい

に取り除かれ、福岡市の美化運動に一役買うことができました。

日頃は出会わない会員同士の語らう風景も三々五々見られ、約1時間の奉仕活動に汗を流しました。

参加の皆さん！御苦労さまでした。来年はもっと多くの方が参加されることを願っています。



26年度「安全・適正就業 促進大会」開催

7月11日（金）城南市民センター4階視聴覚室において、城南出張所の平成26年度「安全・適正就業促進大会」が会員81名の参加を得て開催されました。会場では、城南区保健福祉センターの保健師が会員の方々の血圧測定や健康相談を行いました。

大会は金替副委員長の司会で始まり、冒頭、永富委員長は「福岡市シルバー人材センターは『共働・共助』の理念のもと、安全・適正就業の厳格な運営が求められています。『1ヶ月10日、80時間以内』という基本をいま一度、皆さんで確認していただきたい」と強調され、「事故は、ちょっと油断すると自分の身にも起こりうるという気持ちでお聞きください」と挨拶されました。

続いて、松尾理事（安全・適正就業担当）と原理事（職群班担当）から挨拶をいただき、事故発生状況の報告を高浪安全担当が行いました。

「全市で24年度は54件、25年度



は43件と減少してきた事故件数が、26年度に入り4月～6月で既に19件と多発しています。前年同期より10件も多い状況です」と事故内容を含め、発生件数が増大していることを仔細に報告し、「城南出張所は、幸いにも皆様のご努力で無事故が続いています。このまま無事故を維持していただきたいと願っています」と結びました。

健康チェックとストレッチ体操のコーナーでは、城南区保健福祉センターの宮本保健師が、「“がん”のなかで“胃がん”が最も多いです。福岡市では“がん検診”を2月と10月に行っていますので、是非受診して…！」と呼びかけ、肩や肩甲骨を動かすストレッチ運動の指導がありました。

講演では、大塚製薬(株)福岡支店・熱中症予防指導員の玉置聖美さんが、熱中症の症状と対処法についてスライドを交えて説明されました。

「のどが渴いてからでは“遅い”。小まめな水分・塩分の補給に心がけてください。特に、高齢者は、就寝時の“宝水”も忘れずに！」との注意喚起に、会場の参加者は大きくうなずいていました。



ユニーク会員さん訪問

『自転車でテクテク走る、全国の旅！』

今回は、毎年陽気が良くなってくると“自転車”で長旅に出かけたくなってきました」と語る、加藤康禮さん72歳をお訪ねしました。

加藤さんは、60歳定年後すぐに会員になられ、配食サービスやデイケア送迎などの就業を経験されました。もともと根っからの“自転車”好きで、「ヒマを見つけては出かけていきます」といわれる加藤さんが、今年5月に実現された『仙台・関西自転車の旅』のお話を伺いました。



加藤さんは、東日本大震災の慰問と関西観光という2つの目的から、自転車で巡る計画を立てました。

5月、新門司港をいよいよスタート。フェリーで徳島を経由して東京・有明埠頭に到着。一路、仙台を目指しました。途中、福島での除染作業を目にしなが、国道4号線を1日60～80キロ走り、6日間で仙台に到着しました。

仙台では、仮設住宅の方々との交流の機会を得ました。それも、加藤さんが所属しているボランティア団体『ニッポン・アクティブライフ・クラブ』（通称：ナルク）が東日本大震災チャリティイベントを計画していたからです。被災地の慰霊では心が痛みました。全壊した荒浜小学校や海岸の松、瓦礫の山と家々の土台だけが残る荒涼とした風景。テレビの画面では伝わらない現実の世界を目の当たりにしました。大自然の脅威、進まない除塩作業、女川町の倒壊したビルなど、本当に心が痛む追悼の日々でした。



復路は、仙台から太平洋フェリーで名古屋に入り、四日市～奈良～神戸という関西の見所めぐり、神戸から門司港、そして自宅という約1カ月、千キロの長旅でした。

「私がシルバー人材センターの会員でよかったと思うことは、一人旅で時折人恋しくなりま

すが、街中で仕事をしているシルバー人材センターの方に『福岡の会員です』と伝えて地元の名所や食事処をお聞きするなど、親切に対応してもらえることや、10年間の山登りの会“城南山歩の会”に参加し、体力維持ができていることなど、感謝することがたくさんあります。」と、はつらつとお話いただきました。

城南出張所の今後の予定

〈9月・10月の行事予定〉

◆『地域懇談会』

- ①別府北・南 9月11日(木)10時～別府公民館
- ②鳥飼・城南 19日(金)10時～鳥飼公民館
- ③七隈北・南 26日(金)10時～七隈公民館
- ④金山・田島 10月9日(木)10時～金山公民館
- ⑤堤ヶ丘・堤・長尾 17日(金)10時～堤ヶ丘公民館
- ⑥片江・南片江 24日(金)10時～南片江公民館

◆『第4回役員会』 10月20日(月)10時～出張所会議室

◆『女性会員のつどい』※別途案内あり

◆『ふれあい城南フェスティバル』

10月19日(日)9時～城南学園通りパレード

広報委員 橋本 修一

早良

区

さわらく

グリーンスクール開催



5月25日(日)の午前中、百道にある九州郵政研修所で剪定班の「グリーンスクール」が開催されました。

朝8時から約3時間に亘って、講師及びベテランの剪定班員が、経験の浅い班員に対してマ

ンツーマンで指導に当たりました。

五島委員長から挨拶の後、班長から注意事項があり、作業の準備や服装・用具等のチェックがありました。剪定の対象樹木は「松の木」です。参加者13名は3グループに分かれて、グループごとに細かく丁寧な説明があり、作業を開始しました。主な注意事項として、

- 1 Y字型に枝を残していく
- 2 20～30枚ほど葉を残してむしり取る
- 3 勢いの良い枝は極力切り落とす
- 4 葉を切らない

等「松の木」を前にして詳細な説明があり、一人一人丁寧に指導していました。

暑い中で皆さんお疲れ様でした。一日も早く一本立ち出来ることを期待しています。

ラブアース・クリーンアップ2014



6月8日(日)の午前中に、全国規模で「ラブアース・クリーンアップ2014」が開催されました。明け方からの雨も上がり、今年も早良出張所は室見川の河畔公園に会員64名が集まり、このイベントに参加しました。

会場には、私達シルバー人材センターのほかに、各地区の自治協議会・各小学校区・社会福祉関係などの団体や企業と個人参加を含めて、総勢348名が参加しました。

9時から開会式があり、主催者から次のような挨拶がありました。

「このラブアース・クリーンアップの活動は、平成4年に福岡市で開催された“ローマ・クラブ福岡会議”をきっかけとして始まったもので、今年で23年目を迎えます。福岡市で始まったこの活動も、九州・沖縄・山口各県はもとより、遠く石川県や北海道さらには韓国の釜山広域市

まで広がっており、九州全体では約57万人が参加する大規模な活動へと成長いたしております。美しい自然を次の世代へ引き継ぐため、この取り組みをきっかけとして地球環境に優しい行動の輪をさらに広げて参りましょう」。

式後、参加者は手袋や火バサミ・ゴミ袋などを手に、室見川の河畔に向かっていきました。今年は家族での参加が目立ちました。ゴミは24袋と昨年の約半分で、少ないゴミを取り合う光景も見られました。11時頃に解散となりました。

地域班長会開催



6月20日(金)10時から出張所会議室で、地域班長26名が出席して隠岐副委員長の司会進行で地域班長会が開催されました。

先ず五島委員長から次の様な話がありました。《概況報告》

4～5月の配分金は、前年比106.1%・計画比100.7%で順調に推移しています。市全体では104.2%・計画比102.4%でした。前年に比べて民間の刈払除草や室内清掃が増えています。月平均の就業率は55.8%で市全体の54.0%を上回っています。会員数は5月末現在で1,036名、市全体では6,849名となっています。雇用延長等の法改正の影響もあり、会員数は減少傾向にあります。事故発生状況は、早良出張所では傷害事故1件で前年と同数ですが、市全体では12件で前年比+9件と大幅増となっています。就業途上の事故が増加していますので、仕事の行き帰りは十分に注意しましょう。

《その他》

1. 「ワンコインお助け隊」の活動状況は、早

良出張所では昨年7月から今年の5月末日までに502件あり、市全体での1,862件の27.0%を占めています。ゴミ出し・水やり等が多いようです。お助け隊登録会員は6月18日現在で215名、市全体では1,076名です。今後は高齢化社会が進む中、利用者が急増することは確実です。自分にも起こりうることを考え、お互いが助け合う地域社会にしていきたいでしょう。

2. 5月30日の「定時総会」に出席頂いた方、又6月8日の「ラブアース・クリーンアップ2014」に参加された方へお礼申し上げます。
3. 毎年3月に開催している「会員のつどい」は、早良市民センター改修のため来年は4月開催となりそうです。

最後に、7月18日に「安全・適正就業促進大会」が開催されることと、7月19日・26日に開かれる「高取土曜夜市」に手芸班が出店することが紹介されました。

事務室窓際に緑のカーテン



出張所事務室南側の窓に、五島委員長が自らネットを張り、ゴーヤを植えて「緑のカーテン」を作っています。

「緑のカーテン」によりエアコンの使用を抑えることが出来るため、節電・省エネ効果があります。さらに植物を育てる楽しみや、咲いた花の観賞、育った実の収穫、さらにその実を食べるといった楽しみもあります。

事務所の皆さんは、早く食べるのを楽しみにしています。

広報委員 高橋 勉

西

区

にしく

ラブアース・クリーンアップ2014



「ラブアース・クリーンアップ2014」が6月8日（日）に開催され、西区にある長垂海浜公園に西出張所から約50名の会員が参加しました。今年は昨年よりも参加者が20人増えての参加となりました。

日差しが照りつける中、参加者はゴミ袋を片手に、空き缶やペットボトル、たばこの吸殻などを拾いました。

実行委員会によると、地元住民や協力企業の社員など約1,000人の参加があり、福岡市全体では約170会場で昨年の4万人を上回る参加者が一斉に清掃活動に励んだということでした。



気持ちのこもった就業に感謝

《姪浜駐輪場》

西区役所の駐輪場担当課宛に西区市民の方から感謝状が届きました。

「小生の孫娘がこの春から就職し、姪浜駐輪場を利用して通勤しています。孫から姪浜駐輪場の方はとても親切で良い方が多いが、中でも一人とても良い方がおられ、『その方にお会

いすると癒されるよ』
 と言っていました。普段は急いでいるので名札を見ることが出来なかったが『今日わかった』と電話がありました。その方は、中村さんです。孫は新入社員でつらい事もあるでしょうが、中村さんに会うと癒されると感激していましたので、一言お礼を申し上げたく一筆したため次第です』という内容でした。



中村聖司会員

《配食サービス》

福岡市から受託している配食サービスでは、西出張所は現在2つの班で約50軒を担当しています。高齢者への配食サービスの就業は、お弁当を届けることと同時に、ご利用者の安否を

確認するという大切な役割も担っています。

西出張所には、届けるお弁当のひとつひとつに、季節の挨拶や声かけの言葉を添えて、配食している会員がいます。たとえば、「桜、春の香り届きましたね、季節の変わり目ゆえお身体を大事にしてください」などが、榊会員のメッセージです。それに対し、「まごころランチ様、お便りありがとうございます」と、ご利用者からお返事をいただくこともあります。また時には、「救急車を呼んでいただきありがとうございます」といったお手紙を頂いたこともあるそうです。



榊優子会員

広報委員 塚原 義紀

城南区

じょうなんく

就業先情報



社会福祉法人城南福祉会特別養護老人ホーム 油山緑寿園 様



城南区南片江の油山山麓にある特別養護老人ホーム油山緑寿園を訪問し、松村宏美事務課長にお話を伺いました。



油山緑寿園は、昭和61年12月に設立され、すでに28年間、多くの高齢者の方を見守り続けてこられました。その知名度は広く地域に浸透しており、小・中学生の体験学習やボランティアの受け入れなどが、定期的に行われています。

「油山緑寿園とシルバー人材センターとのお付き合いは、もう8～9年になります。そのきっかけは、館内守衛業務の宿直さんのご紹介でした」と松村さん。

現在、城南出張所で承っているのは清掃関連の仕事で、6名の女性会員が月曜から土曜の6日間、午前中4時間を2名1組で就業しています。「一般求人という方法ではなく、シルバー人

材センターさんの紹介なので安心してお任せしていますし、信頼しています」との評価をいただきました。



「入所者の方々が、来訪した幼稚園児たちの遊戯や歌に表情を緩める姿が何ともいえません。“安らぎ”“思いやり”をモットーに、入所者の皆さんに安心して安らかに、そして楽しく過ごしていただけるよう、職員一同がんばっています」と声をはずませてお話をいただきました。

油山緑寿園では、100名の入所者のお世話のほかに、短期入所生活介護（ショートステイ）事業、デイサービス事業、居宅介護支援事業など地域のニーズに応えた事業展開が行われています。

広報委員 橋本 修一

100 500 ワンコインだより



祝 1 周年！ 「ワンコインお助け隊」

有償ボランティア事業「ワンコインお助け隊」は、平成 25 年 7 月の事業開始から 1 年が経過しました。これも会員の皆様のご協力によるものです。ありがとうございます。

今後も、「ワンコインお助け隊運営委員会」でさまざまな検討を行っていきます。地域貢献・社会貢献のため、市民の皆様に浸透した事業になりますよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

■ 1 年間の事業実績（ご依頼頂いた件数）

（単位：件）

	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	月合計
平成 25 年 7 月	12	10	4	13	15	26	7	87
8 月	17	14	11	24	31	62	17	176
9 月	23	19	37	15	16	42	12	164
10 月	30	22	17	19	10	52	17	167
11 月	27	16	19	34	10	39	22	167
12 月	22	14	21	40	6	43	16	162
平成 26 年 1 月	22	13	20	24	13	37	5	134
2 月	38	20	24	37	9	39	12	179
3 月	35	16	37	44	10	41	10	193
4 月	36	23	34	46	23	61	6	229
5 月	39	14	21	54	0	60	16	204
6 月	53	21	17	44	1	54	18	208
区合計	354	202	262	394	144	556	158	2,070

■ 現在のお助け隊員数（平成 26 年度 6 月末現在）

（単位：人）

	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	合計
男性隊員	106	156	55	99	35	151	119	721
女性隊員	80	41	48	67	17	64	51	368
区合計	186	197	103	166	52	215	170	1,089

ワンコインお助け隊の 1 周年にあたり

ワンコインお助け隊事業運営委員会
運営委員長（早良区委員長） 五島 勲夫

「ワンコインお助け隊」事業は、平成 26 年 6 月で開始から満 1 年が経過しました。

事業実績は、当初、運営委員会で予想していた以上の成果を上げることができました。これも偏に、お助け隊員の皆様のご支援とご協力の賜であり、皆様のボランティア精神による、地域貢献・社会貢献活動の成果であります。誠にありがとうございます。

事業実績は 26 年度になり、25 年度月平均依頼件数の 134% で、実績が順調に推移しています。26 年度は 3,000 件のご依頼を頂けるように計画しており、今後も年々依頼数が増えていくように、現在、就業開拓員を中心に PR 活動を推進しています。

この『ワンコインお助け隊』を PR することで、市民の皆様にシルバー人材センターの存在を知って頂き、多くの市民の皆様から愛され、お仕事のご依頼を頂けるセンターでありたいと考えています。

また、更に多くの会員の皆様に「ワンコインお助け隊員」のに登録して頂きますよう、よろしくお願い致します。「ワンコインお助け隊員」の登録は、各出張所で随時受付しています。

最後になりましたが、茹だるような暑さの毎日ですが、健康管理にご注意ください。

会員の皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成26年度会議開催状況(6月～7月)

●理事会

回	開催月日	議案
4	6月25日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会
5	7月23日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会 ・平成26年度収支補正予算(案) ・配分金見積基準の改定(案)

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
3	6月18日(水)	・部会長、副部会長の互選 ・未収金対策 ・配分金見積基準の適用(案) ・筆耕配分金単価の改定(案) ・介護保険法改正への対応
4	7月16日(水)	・未収金対策 ・配分金見積基準の適用(案) ・筆耕配分金単価の改定(案) ・運転年齢の制限

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
3	6月20日(金)	・部会長、副部会長の互選 ・業務部会の取り組み状況 ・配分金見積基準の適用(案) ・筆耕配分金単価の改定(案) ・介護保険法改正への対応
4	7月18日(金)	・業務部会の取り組み状況 ・配分金見積基準の適用(案) ・筆耕配分金単価の改定(案) ・発注者満足度調査の実施

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
2	6月25日(水)	・平成26年度第3回「総務部会」及び第3回「業務部会」の報告 ・平成26年度5月「事業実績」
3	7月23日(水)	・平成26年度第4回「総務部会」及び第4回「業務部会」の報告 ・平成26年度6月「事業実績」

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
3	6月18日(水)	・事故状況 ・審議事項 ・安全・適正就業強化月間実施要領
4	7月16日(水)	・事故状況 ・審議事項 ・安全・適正就業強化月間 ・健康診断受診報告

シリーズ

わが町の歴史散歩

39 中央区編

大名町

「時代は流れ、人も自然（町）も変わっていく」



旧大名小学校の正門と大名小えのき通り

の関心をひいていました。そこに路面電車を通す計画が持ち上がり、教会との協議の結果、S字型の電车道を作ることになりました。このカーブは、運転手泣かせの難所で有名だったそうです。

かつて栄華の町であった大名町は、時代の流れとともに変化しつづけ、今では若者に人気の町になっています。

願わくば、将来歴史と新しい町が共存し続ける大名町であってほしいと思った散策でした。

今回は、天神町と隣り合わせの大名町を散策しました。

大名町は、旧藩時代は大身屋敷として、福岡藩の中老、筋目、大組といった武家屋敷が並んでいて、日が暮れると人通りはなく、寂しい場所であったそうです。

戦災を免れた大名町の南側は、今でも旧観の町並みが点在しています。藩医の養巴ようぱや各職人の紺屋こんや、万町よろずまちなど、歴史をたどって名残を見つけると楽しくなります。

明治時代の山口右衛門屋敷は現在の中央区役所に、河村屋敷は現在の旧大名小学校に、また間島屋敷は現在の西鉄グランドホテルになっています。

大名の南側には警固川が流れており、しばしば洪水に見舞われていました。1948年の第3回国民体育大会を機に整備され、国体道路ができました。

また斎藤忠兵邸跡には、福岡で最初のカトリック教会が建設され、赤煉瓦の教会は市民



天神西通り

広報委員 井手上 勉



互助会活動報告

駕与丁公園ハイキング



5月15日(木)4年ぶりに駕与丁公園へのバラ観賞のハイキング。午前中大雨、午後晴れの天気予報でしたが、受付開始時間前には雨も上がりました。天候不順で参加が心配されましたが、112名の会員にご参加いただきました。

互助会石崎会長から歓迎の挨拶、業務委員からお願い事項等連絡の後出発しました。バラ園までは団体行動とし、到着後は自由行動・自由解散となりました。

雨上がりのバラ園は最盛期を迎えていて、全国から集められた180種2,400株のバラ・樹木が一段と新鮮で皆様の心に感動を与えたかと思えます。

雨上がりの日差しの強い中、それぞれでウォーキングや散策をしました。その後グループ毎に弁当を囲み談笑する楽しいひと時を過ごしました。



事故等何事もなくできましたことは、会員の皆様のご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。また、アンケート調査は70%を超える回収率をいただきました。貴重なご意見として今後参考とさせていただきます。

次回は来春を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

早良区互助会業務委員 天野 俊貴

互助会

サークル活動の紹介

中央出張所

仲よし料理教室

代表 樋口 章子

仲よし料理教室は会員25名(女性22名・男性3名)、自分たちでレシピを考えながら田舎料理を作ったり、新しいものにチャレンジして失敗することもあるのも愛嬌です。新しいお仲間を募集してます。来てくださいネ。



本日の献立

- ★かやくご飯
- ★冷し中華
- ★ゴーヤの白和え

仲間の声



- ☆2年がたち皆さんと楽しみながらやっています。(大田)
- ☆レシピ(作り方)を覚えられ、とても為になっています。(渡辺)
- ☆ひとり暮らしには面倒な料理も、ここの教室では楽しくやらせてもらい試食も嬉しい限りです。(山根)
- ☆愉快的仲間達と失敗しながら料理を楽しんでいます。(吉野)
- ☆仲間づくりの為と思って入会しました。毎回楽しくお料理を作っています。(梅津)
- ☆にぎやかに話もはずみ失敗もまた楽しんでいきます。(藤井)

26年度
新規

互助会

サークル活動の紹介

東出張所

フラ（フラダンス）愛好会

会長 池田 清枝

ハワイの伝統的な踊りであるフラが今、中高年の女性を中心にさまざまな年代の人たちの間で全国的に人気を集めています。昨年の東出張所の日帰りバス旅行の際に、会員の皆様と「私もしていた」「習いたいと思っていた」などとフラの話で盛り上がり、会員同士の親睦を図る上で良いと考え、愛好会を結成する運びとなりました。



フラの音楽に癒されながら心身ともに健康を保ち増進させ、いつまでも若々しくいられるのは最適だと思います。

毎月第2と第4の土曜日 10:30～12:00 東出張所の2階で初心者ばかりワイワイ言いながら練習しています。

芸能大会、いろいろな催事・慰問等に参加できるように励んでいます。いつでも見学・入会は大歓迎です。お待ちしております。

現在、会員は女性 18 名です。

博多出張所

芸能サークル「ザ・ニューウェーブ」 会長 新川 弘人

私共は、常に健康で明るくサークル活動を通じて、親睦を深め楽しさと笑いを追求して行くことを目標に4月に発足しました。

活動を紹介しますと、

1. 歌 唱 カラオケは「音楽療法」といわれ、中でも日本人の心に馴染むという演歌からです。リバイバルから最新曲まで音符の研究もしています。ポップスにも挑戦し、K-POP ではハングルの勉強も兼ねています。男女混合コーラスで楽しく、ムード一杯のデュエットも続きます。
2. ダンス 軽快なメロディ、リズムの POPS、ROCK、アレンジひょつと踊りで次々と脳を刺激します。

とにかく楽しい練習活動は、

毎月第1、第3日曜日 12:00～19:00

場所：カラオケ アメリカ天神

(中央区天神3丁目6-4)

会員は、男・女 24 名です。



重要なお知らせ

センターと類似した名称を名乗る業者等にご注意ください。

シルバー人材センターと類似した名称を名乗り、作業をする業者がいるとの情報が寄せられています。センターは、類似した名称を名乗る業者とは一切関係がありません。

会員の皆様は、就業の時は必ず会員手帳を携帯し、お客様に求められた場合には会員証の提示ができるようにしておきましょう。



平成26年度会費の口座振替について

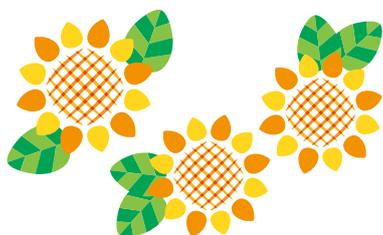
シルバーだより6月号(第136号)でお知らせしましたとおり、7月22日に会費の口座振替を実施しました。

預金残高の不足などで口座振替ができなかった方を対象に、下記の日程で再度口座振替を実施します。振替日の前日までに、登録の預金口座にご入金をお願いいたします。

◎**口座振替日 平成26年9月22日(月)**

■ 会費の口座振替「未登録」の方へ ■

会費のお支払いがお済みでない方は、お早めをお願いいたします。



口座振替の登録をすると、配分金等の払込口座から会費を納入することができます。

金融機関へ出向く必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。

口座振替の登録を済ませていない方は、是非ご登録ください。

編集後記

先日、学生時代の親友が東京からやってきました。前回は躊躇なく太宰府天満宮に案内しましたが、今回はどこにしようかと迷いました。福岡市内に“ランドマーク”が見つからなかったのです。現在NHKで大河ドラマ『軍師官兵衛』が放映されていることと、彼が城好きな“城めぐりスト”であることで福岡城に案内しました。国内外で多くの城を見て来ている彼は言いました。「福岡城跡は立派なランドマークではないか。天守閣がないのは残念だが、しっかりした天守台があるし、いくつか櫓も残っている。多くの石垣も立派で、城の縄張り(配置・設計)もシッカリしている。しかし石垣が雑木や雑草で見え難いのは惜しいネ。宝の持ち腐れかな」。

福岡市内には金印・鴻臚館・元寇防塁・福岡城跡等たくさんの貴重な遺産があります。これらを福岡市のランドマークとしていくには、私たち福岡市民の責任ではないかと痛感させられました。(T.T)

「ふくおかシルバーだより」 発行元/公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org